

時 限 秘

教科書採択終了まで

**令和6年度より使用する
文京区立小学校教科用図書について**

令和6年度使用文京区立小学校教科用図書審議会

答 申

令和5年7月11日

国 語

国語科の目標は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することである。

東京書籍は、見通す→取り組む→振り返るという学習の進め方がステップアップ方式で示され、学習の流れが明確で取り組みやすい。特に、高学年は1冊になっており、学習に迷った際は進め方に戻って確認ができる。また、タブレット端末をどのように活用していくかがまとめられており、確認がしやすい。1ページあたりの情報量が多く、調べ学習をする上で活用しやすい。

教育出版は、高学年も上下巻に分かれていることで見やすく扱いやすい印象がある。「新聞を読もう」では図が多用され、説明のポイントが押さえられていて見やすい。また、漢文などの少し高度な内容の題材も取り上げられているとともに、「敬語」なども分かりやすく取り扱われている。SDGsに関連した内容を取り扱うなど、他教科等との関連が図られている。

光村図書は、学習の進め方について、学習者がどのように進めていくとよいか図式化されていて分かりやすく、目標をもって学ぶことができる。特徴としては、協働的な学びを重視した展開になっている印象がある。また、読み物教材のあとには、読書の幅を広げていく提案があり、作家別を選ぶなど具体的に関心が広がるテーマが掲載されている。

書 写

書写に関する事項においては、各教科等の学習活動や日常生活に生かすことができる書写の能力を育成することが求められている。このため、文字を書く基礎となる「姿勢」「筆記具の持ち方」「点画や一文字の書き方」「筆順」などの事項から、「文字の集まりの書き方」に関する事項へと系統的に指導することが重要である。

東京書籍は、書写を学ぶ意義が示されており、何のために学ぶのかが理解しやすい。鉛筆や筆の運筆が擬音やイラストで描かれており、イメージしやすいように示されている。毛筆については、字だけでなく、道具に着目した内容も示されており、関心が引き出せる内容になっている。よい例とそうではない例が示されており、自分の文字と比較して課題を意識できるようになっている。

教育出版は、めあてだけでなく、学習を通して考えるべきことが提示されていて、学習者は意識しやすい。单元ごとに硬筆での「ためし書き」「まとめ書き」のスペースがあり、毛筆と硬筆をつなげる指導が構成されている。「横書きのノートの書き方」にもふれられており、学んだ内容を他教科や生活の中で生かすことができるように工夫されている。

光村図書は、学習の進め方が細かく示され、1時間の見通しをもつことができる。1・3年生で「スタートブック」が用意されており、初めて学ぶ児童にとって基本事項の理解に役立つ。特に、手本が右、ポイントは左に統一し示されている点や、筆使いで始筆が丸や三角など分かりやすい図形で示されている点は理解に役立つ。SDGsを取り上げ、他教科との関連も図られている。

社 会

社会科の目標は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することである。

東京書籍は、学習の流れが「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の順で掲載されているとともに、主な見開きページに「まなびのポイント」があることで、見通しをもって問題解決的な学習を進められる。各単元で活用できる資料や動画が豊富であり、視覚的に分かりやすく理解を深められる。個別でもグループでも活用が図れる二次元バーコードのコンテンツが充実している。

教育出版は、学年間や単元間の接続を意識した単元構成であるとともに、段階を踏んだ展開であることで、学習をスムーズに進められる。写真やイラストがバランスよく配置され、重要語句も分かりやすく示されていることで、視覚的に分かりやすく理解を深められる。個に応じたページや二次元バーコード内の動画やドリル等、児童が主体的に活用できるコンテンツが充実している。

日本文教出版は、見開きごとに1時間の授業展開となっており、問題解決的な学習を進められる。SDGs等の現代的な問題を扱うページや話し合い活動を通じて、多様な考えを比較・検討できる「深め合い」活動のページがあり、発達段階に応じた学びが展開できる内容となっている。二次元バーコードを読み取ると、授業で活用できるワークシートや資料が充実している。

地 図

地図帳については、日常の指導の中で、折にふれて、地図の見方や地図帳の索引の引き方、統計資料などの活用の仕方について指導し、地図帳を自由に活用できる知識や能力を身に付けるようにすること、各学年において、地図や統計資料などを効果的に活用し、次第に我が国の都道府県の構成について分かるようにすることが大切である。

東京書籍は、紙面全体の配色が濃く、地名が読みやすいことや特産物品のイラストが豊富であることで、学習への意欲を高められる。「首都東京」のページがあり、文京区を含めた観光名所がイラストとともに大きく掲載されており、自分の住んでいる地域の理解が深まる。楽しみながら学べるクイズや動画等、二次元バーコードのコンテンツが充実している。

帝国書院は、紙面全体の配色が淡く、地形や山脈の高低差が捉えやすくなるよう、立体感のある地図表現であり、視覚的に分かりやすい。「広く見わたす地図」や「江戸時代の結びつき」等では、名産品や観光地、歴史に関するイラストが掲載されており、発達段階に応じた学習の理解が深まる。地図マスターへの道や地球儀の使い方等、主体的に学べるデジタルコンテンツが充実している。

算 数

算数科の目標は、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することである。

東京書籍は、各単元の冒頭が、前学年からのつながりを意識した構成になっている。また、4年生以上では、世界レベルで活躍する方々の算数との関わりを掲載し、算数の身近さを味わい、意欲が高まるよう工夫している。単元の後半では、問題解決に取り組めるよう吹き出しや発問をシンプルにしている。二次元バーコードで読み取るコンテンツでは、単元の導入時に動画が用意されており、学習の内容に児童が興味をもつための工夫が施されている。

大日本図書は、目次を見るだけで、下学年から上学年へ単元の見え方がわかるように工夫されている。学習の過程を「問題をつかもう→自分で考えよう→学び合おう→まとめよう→使ってみよう→振り返ろう」のタグで示し、児童自身がどの活動をしているのかを明確にする工夫が施されている。二次元バーコードで読み取るコンテンツが多数用意されているとともに、各単元のコンテンツにすぐにアクセスできるよう工夫されているため、振り返り等がしやすい。

学校図書は、数学的な見方・考え方を様々な場面で使えるように、キャラクター化したマークを使い、児童が楽しみながら算数の思考を深められるよう工夫されている。身の回りの図形や教材が豊富に記載されているとともに、3年生以降に特設ページ・巻末ページとして「図や表を使って問題を考えよう」というページが設定されている。「なるほど算数」で円周率の歴史を扱うなど、学習の内容に児童が興味をもつための工夫が施されている。

教育出版は、新学年の初めに授業の中で伝え合い・学び合うための授業開き特設教材の掲載や、単元末に学んだことの要点を押さえる4コマ漫画を設定している。問題解決の手だてとして図で表現することを大切にしており、図を描かせるための工夫が施されている。4年生以上の巻末には、各単元の内容に関連した、算数の世界を広げるための課題が設定されている。SDGs等について扱いながら算数の学習と現実世界を繋げる探究的な教材を掲載している。

啓林館は、多数用意されているデジタルコンテンツが、教科書内の二次元バーコード近くに内容の見出しが付いており、デジタルコンテンツを開かずとも分かるよう工夫されている。学習のまとめでは、協働的な学習を通して分かったことの「まとめ」を、算数が苦手な児童にとっても分かりやすい言葉で例示している。3年生以上に「わくわくSDGs」のページを設け、児童が算数での学習を生かして「現代的な課題」について考える学習の充実を図っている。

日本文教出版は、全時間に「めあて」と「まとめ」が記載され、見てすぐ分かる学習の流れになっている。めあての近くに、見通しを立てたり、筋道を考えたりするための着眼点を「見方・考え方」としてはっきりと明記するなど、児童が意識して学習しやすいよう工夫されている。補充問題が「基礎・基本」「応用・発展」「探究」的な問題の3段階に分かれており、より多くの児童が興味・関心をもって取り組むことができる。

理 科

理科の目標は、自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することである。

東京書籍は、問題解決の段階を明確にし、学習の進め方や学び方が細かく示され、児童にとって学習が進めやすい構成となっている。また、単元末の「活用」部分では、理科で身に付けるべき資質・能力を伸ばすような場面が設定されている。写真・挿絵など資料が豊富で、大きく掲載され見やすい。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、バラエティに富んだ内容である。

大日本図書は、問題解決の学習過程を重視し、7つの段階に分けて細かく設定され、児童にとって学習を進めやすい構成となっている。また、上学年の学習内容へのつながりを意識した活動が多く設定されている。写真資料が豊富で、説明と写真のページを分けるなど、ねらいが明確になっている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、内容が一覧で見られ、使いやすい。

学校図書は、問題解決の学習の流れが、項目のみで簡単に示されている。ノートを取り方や学習の進め方など、詳細は巻末にまとめられている。実験方法を考えたり、実験結果を見取ったりするための写真が効果的に配置されている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、観察・実験結果の提示や映像資料が中心である。

教育出版は、問題解決の学習の流れが、6つの段階で示されている。学習の進め方やノートを取り方が詳細にまとめられている。写真やイラストの資料を補足する文章説明が豊富であるとともに、見開き資料などの工夫もある。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、観察・実験結果の提示や映像資料が中心である。

啓林館は、問題解決の学習の流れが図で簡潔に示されている。ノートを取り方などは巻末に資料としてまとめられている。前半に生命・地球領域、後半にエネルギー・粒子領域がまとめられた独自性のある単元構成となっている。視覚的な情報を少なくすることで、児童が考えやすい配置になっている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、関連情報が一覧で見られる。

生活

生活科の目標は、具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていく資質・能力を育成することである。

東京書籍は、ページをめくりやすくするなど、児童の発達段階に配慮した工夫がある。また、授業の導入で活用できる写真に、児童の意欲につながる工夫が見られる。写真資料が豊富で、植物や生物を実寸大で紹介し、児童の興味・関心を引きやすい。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは巻末にまとめられ、様々な生き物を図鑑のように見ることができる。

大日本図書は、児童の深い学びを意識した構成となっている。活動ごとに気持ちマークを使って振り返るページや、ワークシートとして書くことのできるページが豊富である。写真とイラストがバランスよく配置されていて見やすくなっている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツでは、動画として視聴できるものもある。

学校図書は、単元の終わりに「もっと」や「ものしりのうと」などが設定されており、児童の発展的な学びに向かう意欲を引き出す構成になっている。生き物や植物はイラストで示されていることが多く、スケッチしやすい。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツでは、写真で見ることができ、より詳しく知ることができるようになっている。

教育出版は、キャラクターや写真資料で児童の興味・関心を引く工夫がある。生き物や植物のイラスト資料が豊富である。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツでは、さらに多数の生き物が掲載されているページがある。巻末の学びのポケットは、各教科の学習や身近な生活と関連付けて理解することができる。

光村図書は、児童の多様性に配慮したイラストや写真が多く使われている。多様な考え方を示したり、写真やイラストに吹き出しが多く使われたりし、児童の思考の助けとなりやすい。また、活動の写真が大きく示されている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツに生き物や植物の項目はないが、別冊で写真資料が付属している。

啓林館は、児童の発達段階に配慮した工夫が多くある。どの単元でも構成が統一されているため、児童にとって学習しやすい。他教科との関連や上学年へのつながりを意識した構成となっている。また、「LIVE」というページは、植物や生物が図鑑のように色鮮やかに掲載され、児童の興味・関心を引きやすい。デジタルコンテンツが充実していて、発展的な内容も含まれている。

音 楽

音楽科の目標は、表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することである。

教育出版は、題材の構成がシンプルで、児童が考えたことを書き込めるようになっている。教科書内の写真や挿絵が豊富で、児童が自分のイメージを膨らませながら創造的に学ぶことができる。世界の音楽を扱う単元や鍵盤ハーモニカを扱う単元では、写真や二次元バーコードが効果的に編集されているので理解しやすい。

教育芸術社は、「見つける」「考える」「歌う・演奏する」という学習の流れが統一されているため、児童にとって分かりやすく、学習の見通しをもつことができる。各所にあるキャラクターの吹き出しが、児童の気付きを引き出し、学びを深めるための工夫となっている。リコーダーを扱う単元では、タンギングと息の使い方について写真で具体的に示されており、理解しやすい。

図画工作

図画工作科の目標は、表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することである。

開隆堂出版は、全学年共通で図画工作科の目標の3観点に合わせたアドバイスがあり、児童が各学年の目標を捉えやすく、主体的な学びに繋がっていく。二次元バーコードにはワークシートの掲載があり、児童の発想・構想の力の定着が期待できる。また、写真やイラストを活用するなど、作品の工程が理解しやすくなるよう工夫されているため、児童は見通しをもって取り組める。

日本文教出版は、作品の写真のレイアウトや見出しに工夫があり、児童は意欲・興味・関心をもって学習に取り組める。特に、1年生の教科書の見開きページには、多くの素材が掲載されているため、児童は想像を膨らませやすくなる。「材料と用具の引き出し」では、用具の分類が「切る」「はる」などの、活動の分類となっており、分類の仕方が児童の目線になっているので理解しやすい。

家 庭

家庭科の目標は、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することである。

東京書籍は、目次の単元の配列が5年生と6年生で同じになっているため、学年間の系統性が分かりやすい。また、SDGsに関する単独のページがあったり、キャリア教育にかかわる動画があったりと、様々な視点から生活を見つめ直すことができるように工夫されている。

開隆堂出版は、各題材が「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで展開されており、児童は学習ごとのねらいを明確にもちやすくなり、主体的な学びにつながる。また、見開きで活動の流れが完結されているため、児童は全体の見通しをもって学習を進めることができる。

保 健

体育科の目標は、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することである。

東京書籍は、罫線の引かれた書くスペースが多く設けられており、児童にとって書きやすく取り組みやすい工夫がなされている。また、養護教諭やスクールカウンセラーなどのアドバイスが掲載されており、学校内外の専門性を有する人材の有効活用が示されている。

大日本図書は、「考える・やってみる→まとめる→広げる・深める」のステップが示されており、児童は学習の見通しをもって取り組むことができる。「新しい命」の単元では、保健で扱う内容が他教科の学習に繋がっていくようになっており、児童の興味・関心が広がるよう工夫されている。

大修館書店は、表紙裏の見開きのページでは、普段の生活と保健の学習の関係が示されており、児童の興味・関心を引くことができる。また、児童が自分で考えてから友達と話し合う流れになっており、自他の考えを比較・検討し、学習内容を深められる構成になっている。

文教社は、吹き出しで大事にしたいポイントや、考えさせたいことが端的に示されている。また、豊富に掲載されている写真やイラストを、グラフなどの資料と組み合わせて学習することにより、児童の理解を深められる構成になっている。

光文書院は、各単元で学習したことを自分の生活の中でどう生かせるかを考えさせるための問いが工夫されており、「もっと考えよう課」の内容が充実している。また、SNSという現代的な課題を話題にしながら、「人との接し方」について、具体的・効果的に取り上げている。

学研は、学習内容が「導入→自ら取り組む→対話的な活動→活用」で構成され、課題解決に向けた学習がしやすい。書き込める枠が豊富で、プリントなどをあまり必要としない。また、罫線も引かれていることで、書き込みやすい。資料も数が絞られているため、すっきりとした印象がある。

外国語

外国語科の目標は、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することである。

東京書籍は、教科書への書き込みがしやすく、辞書が別冊で1冊にまとまっているため、児童にとっても、教員にとっても使いやすい。児童用デジタル教科書は映像が豊富で、児童の興味を引きやすいうえ、字幕の有無を選択することができる。教科書のデジタルコンテンツの数も豊富である。

開隆堂出版は、中学年で学習した内容を掲載するなど、復習しやすい構成になっている。SDGsを学習のテーマに取り上げたり、国語の教材を取り上げたりするなど、カリキュラム・マネジメントの視点での充実を図っている。振り返りがひとまとめになっており、学習状況の把握がしやすい。

三省堂は、別冊の辞書に掲載されている単語を使った会話文が示されているため、実践的な練習がしやすい。学習の進め方が分かりやすく示されており、児童は見通しをもって学習に取り組める。中学校で入りたい部活等について取り扱っている単元が充実しており、中学校への接続が意識されている。

教育出版は、はじめの二次元バーコードを読み取ると、全レッスンのデジタルコンテンツがまとまっているため、各コンテンツにアクセスしやすく、復習などに便利である。アメリカの手話が紹介されたり、表紙に車いすの子どものイラストが使われたりしており、多様性の尊重と人権への配慮が感じられる。

光村図書は、どの単元の学習においても大切にしてほしいこととして「いつも『たいせつ』」を示している。各教科との関連を図るなど、カリキュラム・マネジメントの視点での充実を図っている。辞書は単語だけでなく、当該の単語を使った会話文も取り扱っているため、実践的である。

啓林館は、始めに「コミュニケーションに大切なこと」が丁寧に示されており、児童は見通しをもって学習に取り組める。発表や、やり取りの工夫について考える活動を取り入れており、深い学びにつながる。児童用デジタル教科書は、歌やチャンツの字幕が進み具合をなぞって表示されるので分かりやすい。

特別の教科 道徳

道徳科の目標は、道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることである。

東京書籍は、発問数が適度であり、児童はじっくり考え、議論することができる。「つながる・広げる」では、本編教材で考えたことを他教科等や日常生活に広げられる。巻末の付録では、思考ツールや心メーターなど、学びに役立つ資料が掲載されている。教科書の背面の保護者向けメッセージには、道徳の時間で育むことが分かりやすく記載されている。

教育出版は、児童の発達段階を踏まえ、低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物教材を中心に構成している。「いじめ」「自然環境」など、現代的な課題とされている内容項目の教材が連続してひとまとまりに配置されている。巻末には「れいぎ・マナー」や「世界人権宣言」の資料が掲載されており、道徳の授業以外でも活用できる。

光村図書は、教師による発問や、考えたり話し合ったりする場面の設定が丁寧に例示されているため、授業の計画立案に役立つ。文京区にゆかりのある教材があり、地域の特性に合致している。「つなげよう」では、各教材と関連する発問や他教科との関連がマークで示されており、道徳で学習したことを他の教科で広げやすい。

日本文教出版は、教材の二次元バーコードに、関連する資料や道具箱が教材ごとに表示されており使いやすい。道具箱には、心情メーター、シンキングツール、ワークシート等、話し合ったり考えたりするためのデジタルコンテンツが充実している。別冊の「道徳ノート」は、使用上の規制が少ないため、教師は自由に使いやすい。

光文書院は、掲載されている教材が豊富なため、教師による選択の幅が広い。すべての教材に4つの発問が設定されているため、授業計画がしやすく、授業も進めやすい。考えをまとめたり、広げたりするための手だてとして思考ツールの活用方法を提示している。巻末にある教材の一覧には、現代的な課題や他教科との関連について分かりやすく記載されている。

学研は、様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材とキャリア教育に関連する教材が豊富なため、児童の興味・関心を引き出すことに効果的である。発問数が適度であり、児童がじっくり考え、議論することができる。「深めよう」や「心のパスポート」など、話し合いや記述などの言語活動を随所に取り入れている。